

小学生へのヒアリング 概要

日時: 令和7年1月28日(火)午後1時から午後1時25分まで

対象: はりまや橋小学校6年生 10名(女子7名 男子3名)

ヒアリング方法: 対面(各クラス毎)

内容: 子育て支援課の職員から、こどもや若者に向けた県の取組の方向性をとりまとめる「高知県こども計画」を策定中であることを説明し、高知で暮らすなかで、小学生として感じていること等について、質問を行った。

※クラスによって質問数や内容には違いがあります。

①日頃、自分の気持ちや考えは、尊重されていると感じますか？

○クラス 6-2

女子

みんながちゃんと、しっかりと自分の話や意見を聞いてくれます。

女子

先生達が意見を言いやすい場を作ってくれていると思います。

女子

みんなで意見を出し合ったり、発表したりしやすい環境があります。

女子

図書委員をしていて、イメージキャラクターについて意見をしたらものが、採用されました(デザインも自分で考えたもの)。

女子

私は習い事をしていて、(大人が)自分の話をちゃんと聞いてくれるなと感じます。

○クラス 6-3

男子

中学受験のために塾に通っていますが、自分が一生懸命自分ががんばっていることを親も応援してくれていて、その結果がどうであれ自分のがんばりを評価してくれています。

女子

学校や友達、家族も含めて自分がやりたいと言ったことはかなえられていると思います。受験がしたいと親に言った時も、気持ちを尊重してくれました。

女子

私は授業中や発表において、積極的に発言を行うタイプです。自分の意見に、周りも思いや気持ちに共感してくれます。受験は父が勧めてくれたが、自分でもやってみたくと思ったので挑戦します。

男子

勉強自体はあまり好きじゃないけれど、受験をします。そうした自分の気持ちに親も寄り添ってくれています。

②夢や希望を持って大人になるには、どんなことが必要だと思いますか？

○クラス 6-1

女子

目標達成に向って、みんなで協力すること。中学受験に向けて、問題を出し合ったり、一緒に答えを考えたりしています。

女子

思い切って行動すること。5年生の時の応援団長がやる気をなくして途中でやめてしまったことを見て、来年の応援団では、自分が団長をしてみようと、思い切ってやってみました。みんなの協力を得て、楽しく取り組むことができました。

男子

仲間と努力して成し遂げること。母や友達と勉強の復習をしたり、サッカーなどのスポーツをしています。

○クラス 6-2

女子

自分の良いところ、長所をそれぞれが見つけて、自信につなげることが大事だと思います。生きていく上での挫折や困難に立ち向かう力を養えると思うからです。

女子

勉強や課題活動に積極的に参加することが大事だと思います。真面目に取り組むことで自分の視野を広げることができて、夢や希望を持ち続けられると思うからです。

女子

自分でコツコツと努力をすることが大切だと思います。諦めず、自分で前に進んでいくこと。

女子

編集者になりたいと思っているけれど、高知県内では学べるところがない。高知の大学や高校で学ぶことができれば良いのになと思います。

女子

カフェの店長になりたいです。料理を作るだけでなく、経営もしっかりと考えてやりたいです。そのためには、経済やお金について、しっかり勉強しないといけないと思っています。

女子

興味がある分野に関連する仕事に就きたいです。今はないので、探したいです。好きなことに関連する仕事をしたいと思っているので、そういった環境が欲しいです。

○クラス 6-3

男子

高知県は地震が多いのでそうしたことから関心をもって、将来は気象予報士になりたいと思っています。目標を持つことで、どんなふうに日々を過ごすかが大事だと思います。

女子

夢や希望が持てない人たちは、いろんな経験や体験をすることが大切だと思います。

女子

私は、技術者か弁護士になれたら良いなと思っています。夢や希望を持つには、自分が好きだと思えるものに目を向けることが大事だと思います。また、周りの人が、そうした気持ちを応援して支えてくれることも大切だと思います。

男子

自分がわからないことがある時に支えてくれる人たちがいると、がんばろうと思えます。寄り添ってくれる人がいる環境が大事だと思います。

③高知県の良いところは？

○クラス 6-1

女子

人が温かいところ。尻込みせずに、高齢者の方も気さくに話を聞いてくれます。

女子

温暖な気候や森林や動物の多さ、促成栽培が盛んなところ。あとは鰹がおいしいです。

男子

優しくてフレンドリーな人が多い。家が飲食店で「イケメンやね～」などと声をかけてくれる人が多くて、温かみを感じます。

○クラス 6-2

女子

通学時、車や自転車が止まってくれることが多くて親切だと思います。

女子

学校周辺は、道が広がって自転車とぶつかる心配が少なくなったので良かったと思います。

女子

多目的トイレがいろんなところに増えました。ジェンダーの時代で、車椅子の人や目の不自由な人、子育て中の人など、みんなが使えます。

○クラス 6-3

男子

自然が豊かなところが良いです。特に仁淀ブルー。報道でも見るので、川が良いなと思っています。地域の人と関わることも多くて、よく神社のお祭りにも行っていました。

女子

周りの大人が優しくて安心できます。地域の人とも挨拶をかわしたり交流がありますし、学校の先生も優しいです。

女子

緑が多くて自然豊か、そして温暖な気候、そして食べ物が良いです。特に魚がおいしくて、魚のなかでもカツオのタタキが好きです。

男子

人が優しくて、自然も豊で、給食も含めて食べ物が美味しいです。

④高知県が、もっとこうなれば良いのになと思うことは？

○クラス 6-1

女子

高知県は「人口が3番目に少なく、田舎でいいところが分からない」といった意見を目にするけれど、こういった高知のいいところをもっと発信できたらいいと思います。

女子

小学校の周りに居酒屋が多く、特に土曜日の夜に嘔吐物が散見されます。翌日は日曜市などで観光客が多いことを考えると、残念に思います。国際中に入って、対応を考えていきたいし、こういった問題を解決していきたいです。将来は、観光客に高知の魅力をアピールする仕事をしたいと思っていて、市長になりたいと考えています。自然の中でも暮らしたいと思っているので、農家になることも考えています。

男子

外国と比べるとゴミ箱が少ないからなのか、駐車場や河川のポイ捨てが気になります。大人がしていると小さい子どもは真似します。河川などの掃除をすれば、ポイ捨てしなくなると思います。

○クラス 6-2

女子

県民一人ひとり、全員が高知県の良いところを知って、伝えていくことが必要だと思います。

女子

皆が(高知の魅力について)それぞれ宣伝する、広げていくことが大切だと思います。

女子

最後の清流と言われる四万十川など、山や海や川、緑があふれていて自然豊かだけれど、いかに守っていくかだと思います。自然に近い高知県民が真っ先にそれを守るための行動をしないといけないと思います。

(何かしている?)家でのゴミの分別は徹底しています(ゴミ箱から分けている)。

(何ができる?)エコバックの活用。

○クラス 6-3

男子

通学路の舗装が悪いところがあって、歩いている時にこけたことがあります。

女子

大学の選択肢が少ないと思います。高校生が受験で都会に行ってしまうので若い人がどんどん流出してしまっていると思います。

女子

どうしようもないことだとは思いますが、高知で小学校の先生になる人が減っていることと、ガソリンが高いです。先生は、280人が合格したのに204人が辞退したとニュースで言っていました。これから小学生になる下級生たちは大変だなと思います。ガソリンは、愛媛に行くとガソリンが安かったけど、高知では178円、182円と上がって今は189円に(ハイオクは205円)なっています。お父さんも高いと言っていました。

男子

僕が前に住んでいたところが駐車場になったり、建物の跡地が駐車場に変わることが多いなと思います。駐車場も良いけど、もっと、こどもが遊べる公園をつくるとか、空地の活用を考えてほしいなと思います。

④高知にあったら良いなと思うもの

〇クラス 6-2

女子

こどもが自分で日常生活の洗濯や料理などを学べる場所、自立を支える拠点が有ればいい（シェアハウスとか）なと思います。お金のやりくりについても最初から学べるようなものも有ったら良いと思います。

女子

いろんなお店が欲しい（雑貨、服などなど）です。イオンにはあるけれど、あちこちいろんな場所にお店があって欲しいです。

女子

理想をいえば、お父さんとお母さんに休んで欲しい（仕事も家庭も忙しい）です。（両親に）伝えることが難しいので、自然に休める場所、休んでいることが自然体で居られるような場所があったら良いと思います。

⑤高知で暮らしていて困ったこと

〇クラス 6-2

女子

ゴミ箱がないのでゴミが道ばた（学校周辺）に捨てられていると思う。アーケード、日曜市にゴミ箱がもっとほしいです。

女子

中央公園で行われるイベントには席が用意されていますが、来場する人の数に対して足りていないと思います。中央公園から続くアーケードのお店にも協力してもらって、大きなイベントにして席も用意するなど、工夫ができれば良いと思います。

女子

よさこい（前夜祭と後夜祭）の席の有料化。県外から見に来る人はお金を払ってでも見たいと言う人は多いかも知れないけど、地元のおじいちゃん、おばあちゃんはどうじゃないと思います。